

花・緑をもっと楽しむ！ とっとりフェア

第30回全国都市緑化とっとりフェア「水と緑のオアシスとっとり2013」を来年秋に開催します。県内各地で様々な緑化イベントが開催され、鳥取県全体が花と緑であふれます。

主会場では湖山池の雄大なロケーションを生かしたナチュラルガーデン（日本を代表するガーデンデザイナーのポール・スミザー氏が監修）のほか、趣向を凝らした仕掛けで会場を彩ります。



水と緑のオアシス
とっとり2013

開催時期 平成25年 9月21日～11月10日

会場 <主会場> 湖山池公園お花畑ゾーン（鳥取市湖山町南）
<サテライト会場> 東郷湖羽合臨海公園（湯梨浜町）、
とっとり花回廊（南部町）

主催 鳥取県、鳥取市、財団法人都市緑化機構

「ボランティア」大募集！

湖山池会場で県内外からのお客様を、鳥取の真心でお迎えするお手伝いをしませんか？

来場者への案内、環境美化など、とっとりフェアの運営をサポートしていただくボランティアを募集します。みなさんのご参加・ご協力をお待ちしています。応募方法など詳しくは、お問い合わせください。

問い合わせ先

緑のまちづくりオフィス（第30回全国都市緑化とっとりフェア実行委員会事務局）
〒680-0841 鳥取市吉方温泉三丁目701
鳥取市文化センター2F
☎0857-25-3511
<http://www.oasistottori.jp/>

めざせ！

生ごみ1kg減量大作戦

町内の一家庭が燃えるごみを出された時、1袋の重さは平均5kgです。

そのごみ袋の中には、生ごみ3kg、紙類1kg、その他1kg（プラスチックごみなど）となっています。

生ごみ3kgのうち、一家庭が1kg減量すると年間で96kgの減量となり、町内4,000世帯で焼却経費を計算しますと約600万円の節減となります。

1kg減量を実現するため、つぎのことに実践してみてください！

- ◎まずは、生ごみをなるべく出さない、ぬらさない！
- ・食品は無駄に買わない、腐らせない、食べ残さない。
- ・野菜や果物などの皮をむくとき、必要以上に厚く切り過ぎない。
- ・できるだけ、皮をむく前に水洗いせず、むいた後に洗う。
- ・野菜の皮や根元、葉など、食べられるところは捨てずに工夫して調理しましょう。
- ◎生ごみを水切りしましょう。（可燃ごみの55%は水分です。）
- ・三角コーナーを使う場合は、水切りネットを意識

して水切りするだけで違います。

生ごみが入った水切りネットは、最後にギョト絞って出しましょう。

町では、生ごみ減量の取り組みとして補助金を交付しています。

・町の補助金を利用しましょう。

家庭用生ごみ処理機購入費補助 ↓ 購入費の1/2（上限3万円）

コンポスト容器購入費補助 ↓ 購入費の1/2（上限5千円）

水切り容器購入費補助 ↓ 購入費の1/2（上限2千円）

可燃ごみの減量化

紙類1kgの中には、菓子箱、はがき、ダイレクトメールなどの古紙として再利用できる雑紙が多く含まれています。使わなくなった封筒を利用し、その中に入れて雑誌と一緒に縛って古紙回収日に出してください。

※個人情報部分は、切り取って可燃ごみへ出ししましょう。

問い合わせ先

環境水道課
環境係
☎7373-11567
FAX 7373-11590